

茨城新聞に紹介されました

11月26日（金）に行われた「南祭」、生徒の皆さん、先生方、お疲れ様でした。右のように令和3年12月10日（金）茨城新聞で、紹介されました。（記事等使用許可書もいただいています。）

記事では、昼間制も夜間制も参加していること、メインテーマ、全体的な企画紹介、仮装大会のこと、開催までの経緯などがわかりやすくまとまって紹介されています。記者の方はすごいと思います。

ある先生は「ストリートビューもよかったけど、Googleの商標だから記事には載らないのかな。」と言っていて、そうかもしれないと思いました。

ミート、スプレッドシート、フォームズなど、普段の手法が、たくさん使われていて学習の成果が発揮されたと思います。この記事弾みにして、さらにICTの活用が深まっていでしょう。

各教室を中継で結んだ水戸南高の
オンライン文化祭＝水戸市白梅



ビデオ会議で文化祭 水戸南高

定時制・通信制の県立水戸南高
校（水戸市白梅、川内孝雄校長）
で11月26日、各教室をビデオ会議
システムで結んだ初のオンライン
文化祭「南祭」が開かれた。
参加したのは同校昼間制10クラ
ス、夜間制4クラスの165人。
実行委員会を組織し「百花斉放」
一人一人が咲き誇れ」のメインテ
ーマの下、創作発表の仮装大会、
参加型イベントのクイズ、絵しり
とり、ビンゴゲームなどを繰り広
げた。

オンライン仮装大会ではビデオ
会議システムで各教室を中継で結
び、参加生徒がテレビやゲームの
キャラクター、メイド姿など思い
思いに仮装して登場。それぞれ2
分間のダンスや寸劇を演じたり、
手袋人形の劇を披露したりする映
像を楽しんだ。

オンライン文化祭は同校にWi
Fi設備が整備されたことをき
っかけに、コロナ禍の文化祭での
活用を生徒たちが発案した。

同校夜間制の小坪正代教頭は
「プログラムは生徒自身が頑張っ
て企画立案した。この経験は今後
の学校や社会生活にも役立つは
ず」と生徒をたたえた。（芳賀和生）